

財産評価 ～取引相場のない株式⑦～

前回・前々回と、なにをやっているんだかさっぱりわからなくなったことと思います。
今回は、このややこしい類似業種比準価額の計算方法を、数字を使っておさらいしましょう。



(8) 具体例

(株)磯野パンの株主である波兵衛が平成25年3月に亡くなりました。同社の資本金は1,000万円で、200株を発行しています(波兵衛は160株所有)。(株)磯野パンの類似業種比準価額を求めましょう。

なお、(株)磯野パンと類似業種である『パン・菓子製造業』及び一つ上の分類となる『食料品製造業』の各比準要素は次の通りで、同社は大会社に該当します。

	1株当たりの			類似業種の株価			
	配当金額	利益金額	純資産価額	H24年平均	H25年1月	H25年2月	H25年3月
株式会社磯野パン	10	100	100				
パン・菓子製造業	9.3	49	664	683	739	786	850
食料品製造業	4.9	22	319	298	315	327	346

① パン・菓子製造業で評価

I 各比準要素の計算

$$\frac{10}{9.3} = 1.07 \quad \frac{100}{49} = 2.04 \quad \frac{100}{664} = 0.15$$

類似業種の各比準要素と比べて自社の数字がどれだけいいのか(悪いのか)を計算します。

II 比準要素の計算

$$\frac{1.07 + 2.04 \times 3 + 0.15}{5} = 1.46$$

利益には3倍のウェイトをかけてIの加重平均を計算します。(この場合、類似業種の1.46倍の価値があるということです)

III 株価の計算(50円当たり)

$$683 \times 1.46 \times 0.7 = 698.0$$

最も安い類似業種株価683円がベースとなります。大会社のため、0.7のしんしゃく割合をかけます。

IV 株価の計算(50,000円当たり)

$$698.0 \times \frac{50,000}{50} = 698,000$$

ここまでは、すべて1株当たり50円で計算してきました。ここで(株)磯野パンの1株当たり50,000円に換算します。

② 食料品製造業で評価

I 各比準要素の計算

$$\frac{10}{4.9} = 2.04 \quad \frac{100}{22} = 4.54 \quad \frac{100}{319} = 0.31$$

①と同様の計算を、ひとつ上のカテゴリの食料品製造業でも繰り返します(以下同じ)。

II 比準要素の計算

$$\frac{2.04 + 4.54 \times 3 + 0.31}{5} = 3.19$$

食料品製造業でみると、類似業種の3.19倍の価値となりました。すごいですね。

III 株価の計算(50円当たり)

$$298 \times 3.19 \times 0.7 = 665.4$$

しかし食料品製造業は、類似業種の株価が安いです。最も安い298円をベースにすると、①よりも低くなりました。

IV 株価の計算(50,000円当たり)

$$665.4 \times \frac{50,000}{50} = 665,400$$

当初50,000円で出資した株が665,400円の価値になったということですね。おそろしや。

③ 波兵衛所有分の評価額

①698,000円 > ②665,400円となるため、低い方の665,400円が類似業種比準株価となります。

従って波兵衛所有分の評価額は、665,400円×160株=106,464,000円です。



ワガメ『ワカメパンが爆発的に売れたのよ』

カツオ『鯉パンの方が大人気だよ』